

## CAICA、「COMSA」の開発パートナーに

当社は、テックビューロ株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役：朝山 貴生、以下「テックビューロ」）が本日発表しました、仮想通貨を使った資金調達用ICOソリューション「COMSA」の開発パートナーを務めることとなりました。

また、今後のICO発展のため、テックビューロが設置したICO協議会の協議会員に、当社の代表取締役会長（CEO）八木 隆二が加入いたしました。ICO協議会はテックビューロの経営陣に加え各界の第一人者で構成されております。

当社は40年以上にわたり金融業をはじめ、製造・公共・流通等のシステム開発の実績を有しており、現在、フィンテック関連ビジネスを戦略的注力領域に掲げ、ブロックチェーン実証実験のサポート、ビットコイン決済に係る開発、AI株価予想システムの開発等、様々な取り組みを行っております。

また、当社とテックビューロはブロックチェーンの実証実験と販売に向けた幅広い分野での協業を行っており、「mijin」の実証実験サポートサービスの請負およびシステム構築についての提携パートナーであります。

このたび「COMSA」の開発パートナーを務めることで、より一層テックビューロとの連携を強化するとともに仮想通貨に関わるあらゆるシステム開発のインテグレーターとして更なる発展を目指してまいります。

「COMSA」とは ～2017年8月3日付、テックビューロ プレスリリースより～

世界のブロックチェーン業界では、2017年6月の時点で過去12ヶ月間のICO（Initial Coin Offering -仮想通貨発行による資金調達手法）による資金調達総額が、ベンチャーキャピタルによるそれを大幅に上回りました。そのような中、7月25日に米SECがThe DAOが金融商品に該当すると発表し、ICOの法的なポジションも国際的にクリアになることが予想され、ICOを実施する企業にはますます綿密な設計が必要となります。一方、多くの企業がICOを希望するものの、それ以前にブロックチェーン技術そのものの導入には様々な問題が付きまといまいます。その一つとしては、暗号通貨の法定通貨に対するボラティリティであり、それが会計上や監査上の様々な煩雑さを引き起こしています。そしてその期待とニーズに、既存のソリューションが対応しきれていなかったことが最も大きな障壁となっていました。

それら課題をまとめて解決すべく、「COMSA」は企業のICOによる資金調達と、既存資産のトークン化、Zaif取引所、そしてmijinプライベートブロックチェーンによる内部勘定技術をワンストップのソリューションとして提供し、実ビジネスへのブロックチェーン技術導入を一からサポートいたします。



COMSA公式ウェブサイト：<https://comsa.io/>

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞  
株式会社カイカ  
TEL 03-5657-3000